

女夫石遺跡発掘調査速報

No24

今回は11月5日に開催された「笑顔で楽しむここに健康づくり事業」の『陸上ウォーキング教室（円野コース編）』の様子をお知らせします。マキもシズリも飛び込み参加でしたが、快くお仲間に入れていただきました。穂坂にいと円野はちょっと離れていて知らないことが多くてビックリでした。クマに会うこともなく、参加者約50名の皆さん、無事ゴールしました。秋晴れでウォーキングには最適な一日でした。ウォーキングインストラクターの先生や地元のボランティアガイドさん、事務局のみなさんありがとうございました。楽しい一日を過ごすことができました。



沢リ: 今日女夫石遺跡から離れて、円野町でウォーキングに参加だ！飛び込みOKでよかったね！

マキ: 歩き方もレクチャーしてもらったし、どんな所を歩くのかワクワクするね。

沢リ: とっても有名な徳島堰や山本勘助の供養塔なんかも見ることができるらしいよ。山に入るから、クマに出会ったりして！

マキ: クマは困るけど、何か新しい発見があるといいね。(づづ)



さー準備運動をして出発だ！徳島堰（とくしませき）の取水口だ、ここから約17キロメートルの用水路が江戸時代に作られ、徳島兵左衛門が先頭に立って作ったので、徳島堰と呼ばれているんだよ。この堰のお陰で、南アルプス地域でお米などを作りやすくなったんだよ。上の写真は、徳島兵左衛門の供養塔で、妙浄寺（みょうじょうじ）にあります。ちなみに妙浄寺の南には石之坪遺跡という縄文時代と平安時代に大きな村があったことが分かっています。女夫石遺跡とちょうど同じような時代です。当時何か交流があったかもしれないね！





円井池（つぶらいいけ）が山中にあります。今は水がないですが、ここには伝説が残っています。

円井姫がこの池の近くに住んでいたのですが、悪さをする漁師と争って片目を負傷して、それ以降池に住む魚は片目となったという伝説です。姫が亡くなった後に、里の人たちが魂を祀ったといわれています。

10月24日には鎮火祭が行なわれ、姫の魂を祀ると共に、火事が起きないようにと祈禱（きとう）が行なわれていたようです。

実は、釜無右岸の山中にはこのような池が他にもあります。鷹ノ田（たかんだ）・池平（いけへら）・さわら池などです。山中に池があるということで神聖視されたようです。その中でも大きな信仰を集めたのが苗敷山（なえしきさん）です。視野を広げると色々なものが見えてくるのも面白いでしょ！



皆さん気づきましたか？
途中にリンドウ？のかわいい花が咲いていましたよ！
歩くと、こんな発見があるから楽しいですね。

皆さんの身近な場所も歩いてみれば何か新しい発見があるかもしれませんよ！

あくせく山の中を歩いてくると、突然山門が現れて目の前が明るくなります。そうです。ここが宗泉院（そうせんいん）です。来年からはじまる大河ドラマの主演？の山本勘助の供養塔があるところです。ちなみに井上靖の「風林火山」には葦崎や新府城のことが書いてある箇所があります。皆さん読んで探してみてくださいね！

「どこの風景？岐阜の高山？」、いえいえ違います。葦崎ですよ。トタンがかぶっていますが、茅葺屋根のお家が宇波円井地域にはまだ残っています。点在する石造物も手伝って、なんだか懐かしい空間をかもしています。ほっとする場所は遠出しなくても身近にあるんですね！

